

施工 Q-13

RC造

梁配筋

納まり例

RC造およびSRC造の場合、梁の配筋作業が容易な施工方法を教えてください。

施工 A-13

梁の配筋作業を容易にするための施工方法を以下に記します。

1. 梁の組立鉄筋幅より型枠上での合成デッキ用デッキプレートとの間隔 20～30mm を広くします。
RC 建造物にデッキ合成スラブを用いる場合、構造上・耐火性能上、デッキ合成スラブを RC 梁に 30mm 呑み込ませる必要があります。
そのため、梁のスターラップのかぶり厚さが 30mm で設計の場合、必然的に梁幅が設計寸法より 20～30mm 大きくなってしまいますが、本工法の場合やむを得ないことになります。

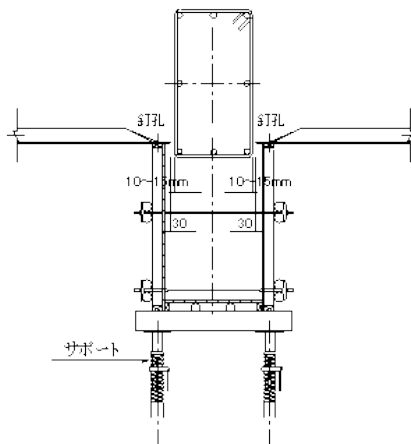


図1 梁鉄筋落とし込み工法

2. 梁鉄筋の組立後、梁型枠取付とする。
梁配筋の組立後、梁型枠の組立、デッキプレートの敷込み作業工程とする場合は、梁のコンクリート増し打ちが避けられます。
SRC 梁の場合は、構造上・施工上から、梁型枠は後付けになります。

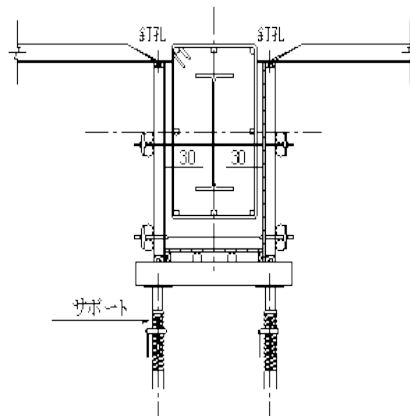


図2 SRC造の場合